

# FUJITSU Software NetCOBOL

## ライセンス : Linux (64bit)

2021 年 7 月 20 日時点

Linux (64bit)は、購入製品が開発・運用環境製品か運用環境製品かによってライセンスの考え方、購入方法が異なります。

1. 開発・運用環境製品 .....	2
1.1 開発・運用環境製品を新規に購入する場合 .....	2
2. 運用環境製品 .....	5
2.1 運用環境製品を新規に購入する場合 .....	5
3. 注意事項 .....	7
3.1 旧バージョン製品をご使用の場合 .....	7
3.2 旧製品との互換性.....	7
3.3 ライセンス .....	7
3.4 クラスタシステムにおける製品のライセンス .....	8
3.5 Hadoop 連携機能を利用する場合のライセンス .....	8
3.6 Linux (32bit) NetCOBOL V7.3 製品をご使用で Linux (64bit) NetCOBOL 製品に切り替える場合	9

# 1. 開発・運用環境製品

## 1.1 開発・運用環境製品を新規に購入する場合

### ライセンス

開発・運用環境製品の購入の考え方を以下に示します。

- メディアパックは、CD-ROM 媒体だけの提供です。  
メディアパックには、使用権は添付されていないので、別途プロセッサライセンスを購入ください。製品の導入にあたり、1 本以上のメディアパックが必要です。
- プロセッサライセンスは、本製品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。
  - シングルコアプロセッサの場合：1 プロセッサあたり 1 本の購入が必要です。
  - マルチコアプロセッサの場合：コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

**注)** CPU 数、コア数などにより、プロセッサライセンスの数が異なりますので、必要ライセンス数については営業へご相談ください。

物理サーバーや仮想サーバー、オンプレミスやクラウドサービスなど、それぞれの利用形態における必要なライセンス数の算出方法については、「[必要なライセンス数の算出方法](#)」を参照してください。

### **クラスタシステムにおける開発・運用環境製品のライセンス**

Linux(64bit)の開発・運用環境製品は、クラスタ構成されたシステムで運用できます。この場合、ご使用になる NetCOBOL シリーズにより、必要となるライセンス数が異なります。詳細は、[クラスタシステムにおける製品のライセンス](#)を参照してください。

## 開発方法

Linux(64bit)では、以下の開発方法があります。

- Linux(64bit)環境で開発/運用する方法
- Windows 環境を利用して開発し、Linux(64bit)環境で運用する方法

### Linux(64bit)環境で開発/運用する方法

製品名	用途
NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit)	COBOL コンパイラ、ビルダなど COBOL アプリケーションを作成できる開発環境
NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ (64bit)	きめ細やかな帳票印刷、画面操作、Web 業務など本格的なビジネス基幹アプリケーション開発環境 <sup>(注)</sup>
NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit)	大規模基幹システム向けに、保守支援( <a href="#">SIMPLIA</a> )、高性能データソース・マージ( <a href="#">PowerSORT</a> を組み込み)、帳票出力、 <a href="#">Interstage Business Application Server 連携</a> が利用可能な総合開発環境

**注)** 画面帳票設計ツールが含まれていないので、Windows 配下で画面帳票設計ツール(FORM)を別途購入する必要があります。

### Windows 環境を利用して分散開発し、Linux (64bit)環境で開発・運用する方法

Linux (64bit)環境上で動作するアプリケーションを、Windows 開発環境で提供している分散開発機能 (リモートビルド機能等) を利用して開発することもできます。この場合、Windows クライアントには、開発するマシンの台数分だけ、Windows 開発環境製品が必要です。また、Linux サーバには、Linux サーバに搭載されているプロセッサ数に応じて、Linux (64bit) 開発環境製品のプロセッサライセンスが必要です。

なお、Windows (32bit) NetCOBOL は、V10.1.0 以降を使用してください。Windows (64bit) NetCOBOL は、V10.2.0 以降を使用してください。

用途に合わせて、以下のいずれかの製品をお選びください。

開発環境	製品名
<b>Windows (32bit)環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ (32bit) V10.1.0 以降</li> <li>• NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (32bit) V10.1.0 以降</li> <li>• NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ (32bit) V10.1.0 以降</li> <li>• NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (32bit) V10.1.0 以降</li> </ul>
<b>Windows (64bit)環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ (64bit) V10.3.0 以降</li> <li>• NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (64bit) V10.3.0 以降</li> <li>• NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit) V10.2.0 以降</li> </ul>
<b>Linux (64bit)環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit)</li> <li>• NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ (64bit)</li> <li>• NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit)</li> </ul>

## 2. 運用環境製品

### 2.1 運用環境製品を新規に購入する場合

#### ライセンス

運用環境製品の購入の考え方を以下に示します。

- メディアパックは、CD-ROM 媒体だけの提供です。  
メディアパックには、使用権は添付されていないので、別途プロセッサライセンスを購入ください。製品の導入にあたり、1 本以上のメディアパックが必要です。
- プロセッサライセンスは、本製品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。
  - シングルコアプロセッサの場合：1 プロセッサあたり 1 本の購入が必要です。
  - マルチコアプロセッサの場合：コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

**注)** CPU 数、コア数などにより、プロセッサライセンスの数え方が異なりますので、必要ライセンス数については営業へご相談ください。

物理サーバーや仮想サーバー、オンプレミスやクラウドサービスなど、それぞれの利用形態における必要なライセンス数の算出方法については、「[必要なライセンス数の算出方法](#)」を参照してください。

#### クラスタシステムにおける運用環境製品のライセンス

Linux(64bit)の運用環境製品は、クラスタ構成されたシステムで運用できます。この場合、ご使用になる NetCOBOL シリーズにより、必要となるライセンス数が異なります。詳細は、[クラスタシステムにおける製品のライセンス](#)を参照してください。

## 製品種別

開発・運用環境製品で作成された 64bit COBOL アプリケーションを動作させるための運用環境製品を用意しています。使用された開発環境に合わせて、運用製品をご購入願います。

開発環境製品	サーバ運用環境製品
NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit)	NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ (64bit)
NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ (64bit)	NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ (64bit)
NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit)	NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit)

## 3. 注意事項

32ビットアプリケーションを開発および運用する場合は、32ビット版 NetCOBOL 商品を別途、購入してください。  
32ビット版と64ビット版は、同じコンピュータにインストールして利用する事ができます。その場合は、両方のメディアパックとライセンスをそれぞれ必要数分購入してください。

### 3.1 旧バージョン製品をご使用の場合

最新の NetCOBOL 製品は、旧バージョン製品の機能を包含しており、互換性を保っております。旧バージョン製品をご使用のお客様は、最新の NetCOBOL 製品へバージョンアップすることをお勧めします。

#### バージョンアップする場合

サポート契約されているお客様のみバージョンアップ（無償）が可能です。サポート契約されていないお客様は、新規購入となります。ご注意ください。

| [「SupportDesk」のご紹介](#) | [SupportDesk「お客様専用ページ」](#) |

#### 注意事項

Linux の旧バージョンからのみバージョンアップが可能です。  
Base Edition から Standard Edition へのアップグレードなどの Edition アップグレード手配はご用意していません。このような場合、新規に製品をご購入願います。

### 3.2 旧製品との互換性

Linux(64bit)では、旧製品の機能を包含しており、基本的に互換を保っておりますが、一部マニュアルどおり作成しない場合など COBOL アプリケーションが正しく動作しない場合があります。

互換に関する情報については、製品ドキュメントの「リリース情報」を参照してください。

### 3.3 ライセンス

「メディア（CD-ROM）」と「ライセンス（使用权）」が分離された形態となっています。NetCOBOL をインストールするサーバマシンに搭載されている CPU 数分のプロセッサライセンスを購入してください。

製品名	説明
<b>メディアパック</b>	CD-ROM 媒体のみの製品です。 メディアパックには、ライセンス（使用権）は添付されておりませんので、別途プロセッサライセンスの購入が必要です。
<b>プロセッサライセンス</b>	動作するサーバマシンに搭載されているプロセッサ数に応じて必要となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• シングルコアプロセッサの場合は、1 プロセッサあたり 1 本の購入が必要です。</li> <li>• マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。</li> </ul>

MeFt/Web クライアントのライセンスについて

- Standard Edition および Enterprise Edition 製品には、Windows クライアントにて動作する MeFt/Web クライアントが含まれています。
- MeFt/Web クライアントは、複数の Windows クライアントにインストールして使用することができます。

SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントのライセンスについて

- Enterprise Edition 製品には、SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントが含まれています。
- SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントは、1 台の Windows クライアントにインストールして使用することができます。
- SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントを複数の Windows クライアントにインストールして使用する場合、追加クライアントライセンスを別途購入する必要があります。

### 3.4 クラスタシステムにおける製品のライセンス

相互待機形態(Active/Active)で運用する場合は、各サーバに製品を購入する必要があります。ただし、運用待機形態(Active/Passive)で運用する場合、通常運用時に待機ノードとなっているサーバには運用ノードで購入した製品を使用できます。待機系ノード分のプロセッサライセンスの購入は不要です。通常運用時に待機ノードとなっているサーバには、運用ノードで購入したプロセッサライセンスをご利用ください。

### 3.5 Hadoop 連携機能を利用する場合のライセンス

Hadoop 連携機能を利用する場合、それぞれのスレーブサーバに対して NetCOBOL の運用環境が必要です。また、



Hadoop ジョブを実行する以下のサーバ（ジョブクライアント）についても NetCOBOL の運用環境が必要です。

- Apache Hadoop 利用時  
マスターサーバ
- Interstage Big Data Parallel Processing Server 利用時  
開発実行環境サーバ

上記に加え MapReduce アプリケーションをビルドするサーバには、NetCOBOL の開発・運用環境が必要です。ただし、MapReduce アプリケーションをビルドするサーバと、Hadoop ジョブを実行するサーバは共用することもできます。

### 3.6 Linux (32bit) NetCOBOL V7.3 製品をご使用で Linux (64bit) NetCOBOL 製品に切り替える場合

Linux (32bit) NetCOBOL V7.3 製品をご使用で、有償サポート・サービス「[SupportDesk](#)」を契約されている場合は、Linux (64bit) NetCOBOL 製品<sup>(注)</sup>への切り替えが可能です。詳細は、当社営業、SE にお問い合わせください。

**注)** 同一パッケージ名および Edition の製品への切り替えのみ可能です。